

大阪府立農芸高等学校 令和6年度 第1回学校運営協議会

日時：令和6年7月12日（金）15：00～16：30 校長室にて

出席者：農業大学校 根来様（A） 美原区区长 小川様（B）
さつき野学園長 佐古田様（C） 帝塚山学院大学大学院教授 大堀様（D）
同窓会会長 田中様（E） PTA会長（F） 阪口様
校長、教頭、事務長、井上首席、樽井首席、進路部長、保健部長、教務部長、
総務部長、生活指導部長、各学科長

議題：

1, 校長あいさつ

2, 学校運営協議会委員長選出（出席者自己紹介）

委員長：根来様

副委員長：田中様

3, 協議

（1）令和6年度 学校経営計画及び学校評価について

校長「令和5年度学校経営計画及び学校評価について。学校運営協議会からのご意見や、各種アンケートの結果等を掲載している。この結果をもとに令和6年度の学校経営計画をたてさせていただきました。

計画の内容について1目指す学校像について。めざす学校像は昨年度と同様。来年度はスクールポリシー等をもとに変更する予定である。基礎的基本的な知識・技能の定着等、内容的には変更していない。

2 中期的目標について。5年先を見据えた目標をたてている。

内容については記載の通り。（「令和6年度 学校経営計画及び学校評価」）

今年度追加された項目としては、6〔防災教育の充実と安全・安心な教育環境の確保〕である。

3 本年度の取組内容及び自己評価について。2の中期目標を達成するための具体的な内容を記載している。

1（2）アについて、「各教科で宿題や課題を課すなど、授業以外の学習を習慣化させる」について、授業アンケートの結果が令和5年度平均値3.0を超えたので、それを維持したい。ICT活用が向上した原因と考えられる。

1（4）進路でも説明があると思うが、決定率を維持していきたい。

2（1）令和5年度は近畿大会出場、全国大会出場を果たした。今年度も全国大会へ出場できるよう指導していきたい。

3（1）アについて、遅刻の総数や懲戒件数を10%減らしていきたい。コロナの影響なのか、中学校で指導されるべきところが、高校で指導をしなければならない状態になっている。そのため指導件数も多い印象である。

3（2）アについて、教育相談や支援教育に係る校内体制を今年度より構築している。

4 (2) ウについて、電話の自動音声案内化や、生徒の下校時間の設定（18時半）等を実施している。

5 (2) 在校生による中学校訪問の実施や、教員による中学校訪問の実施に力を入れていきたい。中学校の教員向けの説明会の実施も設定している。

6については現在見直しを図っている。」

分掌等より説明

樽井「情報部より。最近の取組について。農芸高校保護者向けサイトを作成している。保護者用アカウントを作成し、ログインしてもらっている。プリント配布していたものをペーパーレス化し、データをメールで送らせていただいている。その内容をサイトにも掲載している。プリントで配布すると保護者の元へ届かないということがあるためこのような対応をさせていただいた。ICTの利用が苦手な保護者に向けても対応をすすめている。相談窓口を設けるなども行っている。欠席連絡についてもアンケート形式で入力いただき、直接電話をしなくてもよいようにしている。今年度途中より、校内のクラウド化に伴い、府立高校すべてが同じシステムの欠席連絡システムを導入する予定となっている。システムの変更がスムーズにできるよう準備を進めている。」

山本「生活指導部より。遅刻数については、年々増加傾向にある。遅刻が多かった生徒の遅刻数が少なくなっているという結果もでていますが、1年生の遅刻数が例年に比べると多い。中学時代の背景が大きく、高校生活に疲れて遅刻が増えている生徒数が多い。懲戒指導について。校則については〔高校生らしい〕という曖昧な表記については、わかりやすい表記にかえている。道路交通法にあわせた校則の変更も見直していく予定である。自転車のながら運転など、事故等も多くなっているので指導していかなければならない。また下校時間の徹底等も行っている。生徒会ではあいさつ運動を実施している。懲戒指導については、コミュニケーション能力の低下によるものが多い。SNSやことばの捉え違いなどによりトラブルになっていることが多い。」

井上「教育相談について。」

鈴木「進路指導部〔大阪府立農芸高等学校 令和6年度進路状況〕より。就職希望者が約40名から30名と減少傾向にある。それに反して求人の数は増加傾向にある。奨学金や支援金等、学費に関する全体的な緩和傾向により進学希望者が増加していると考えられる。指定校求人をはじめ多くの求人があるため例年通り指導をしていく予定である。

就職については2年生の12月より就職準備講座を実施している。今年度も実施予定。進学については、一般入試を受験する生徒が少なく、この春も2名であった。そのため、面接や小論文等の対策が必要な生徒が多いため、そちらに対応した指導を行っている。」

稲葉「保健部より。1年生の来室が例年に比べ増加傾向にある。登校不安や家庭内の問題、友人との関係について話をしにきたり、泣いてきたりする生徒が多い。どうやったら授業に戻れるかを考え、担当教員も入って教室に戻すこともある。SCと話したいという生徒も多く、SCの予約がいっぱいという状況が続いている。」

喜多村「総務部より。1年生による中学校訪問を昨年度実施した。今年度は、1年生以外に2,3年生による中学校訪問を実施する予定である。本校を受験していない学校については管理職を中心に中学校訪問を実施する予定である。学校説明会を5回から4回に減らした。農芸祭の時期とかぶるので、農芸祭に来てもらえるようにしている。」

葉山「ハイテク農芸科より。植物を育てる学科である。1クラス40名募集。片道1時間半かけて登校している生徒が多い。学びに対する意識の高い生徒も多い。農業や農産に関する就職に就くには選択肢が多くないため、農業に関する大学や、それ以外の進学を選択する生徒が多い。」

中山「食品加工科より。インスタ発信を行っており、生徒の顔がみえるような工夫をしている。美原区のパン販売をはじめ、出前授業や平野高校との連携など、地域との連携を行っている。本校前のラトルチュさんに来校してもらい技術を教えてもらうなど、実践的な内容を教えてもらえる工夫も行っている。またケチャップを加工する際、堺市の農家さんからトマトをいただいていたが、本校でもトマトの生産を行うことにした。」

校長「食品加工科の倍率が年々下がってきている。私立にも食品を扱う学校が増加しており、その中で販売許可を出せない加工場であることも他校と差別化を図れない原因の一つと考える。教育庁に要望をだしている。」

北田「資源動物科より。教員が若く、14名中10名が20代で、勤務一校目が本校である教員が多い。教員の知識・技術の向上が課題である。公用車を運転できる教員も少なくなっているため、校内でできることを模索している。資源動物科の教員の労働時間が超過しているのも問題であるため、そちらについても対策を講じている。ありがたいことに地域連携も行っている。定員割れであったため、SNSを活用しているが、動物愛護団体からの抗議があり、生徒たちが傷つくこともあり慎重に活用を検討している。外部でのやりとりについても予算面に問題があるため、予算をうまく削減できる対策も構築している。動物園で飼育員になりたいという生徒についても、実際の職務との差についても指導する必要性があると感じている。毎日新聞からお話があり、京都動物園でのSDGsイベントを実施するため、本校生徒が食育に関する授業を行う予定である。」

根来様「本校でも広報について悩んでいることがある。生徒目線の様々な発信をしているが、観てほしい人に届いているのかというところが懸念点である。在校生が中学校訪問しているが、今後も適切に広報が効果的に行われることを期待している。」

小川様「広報について、区と一緒にやってくれていることは、区でも取り上げさせていただきたい。コロナの影響が様々なところでできていると感じる。他にも出てくるのかと観ていきたい。」

佐古田様「高校進学について、教員の意見が大きいと実感している。中高の教員間の連携も大事。複数の高校にきてもらってシンポジウムをしたこともある。インスタの発信をし続け

ることが大切だと感じている。生徒の関心は youtube である。テレビや新聞よりも SNS やメディアを活用することで中学生の目にも届くのではないか。」

大堀様「社会は区切りがあるが、テレビと違い、Youtube には区切りがなく、止められることを受け入れられない子が増えている。子どもたちを取り囲む環境が大きく変化している。」

田中様「造園の Youtube などを見せてもらっている。動物との関わりについては、厳しい意見をもらうことがあると思うが、生徒たちは実体験をしているため、その経験を糧に、意見を受け入れると同時に、自分の実体験に誇りを持って対応してほしいと思う。環境の設備が老朽化し、生徒の学びや思いが形にできないのは寂しいので、ぜひ形にできる環境作りをがんばってほしい。」

阪口様「SNS を活用した情報発信が、中学生にとって効果的ではないか。インスタの URL や Youtube の更新をしてほしい。食品加工場の老朽化はあまりアピールできないので、できる食品加工場になったらいいなという保護者の思いがある。エアコンの温度調整ができない設定になっていると聞いた。生徒の体調にあわせて温度調節をできるようにしてほしい。バスの遅延の対応をもう少し緩くしてほしい。事故にもつながりかねないので検討してほしい。農芸祭の入場緩和をしていただきたい。友人等を招待できるようにすると、そこから兄弟等に情報が回って学校の PR になるのではないか。」

校長「学校の施設の老朽化については、これからも教育庁に話をもっていきたい。エアコンについては、確認の上、対応する。バスについては、遅延下からゆっくり歩くのではなく、早めの行動を心がけてもらいたい。社会に出たときには、早めの行動が求められるため、一本早く乗車する、校内から急ぐなどの姿勢をもってほしい。農芸祭については、今後、検討させていただく。」

(2) 教科書採択について

校長「別紙参照」

(3) その他

校長「農場長が欠席のため、DX について校長より説明。デジタル化のための予算をもらっている。詳細は第 2 回で説明する。」

【閉会】